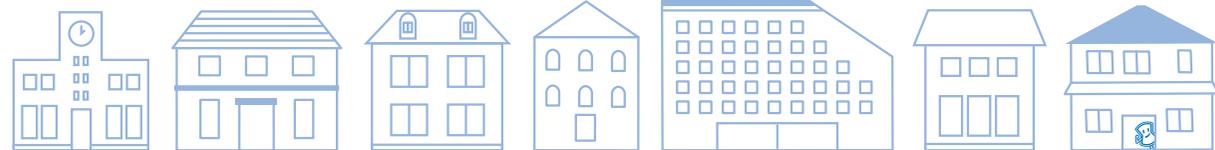
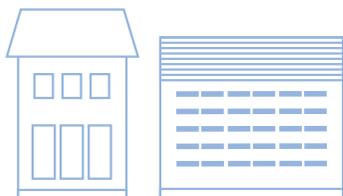


LAWSON



VALUE BOOK 第35期 報告書

2009年3月1日～2010年2月28日



代表取締役社長 CEO 新浪 剛

Profile

新浪 剛 (にいなみ たけし)

1959年生まれ。三菱商事(株)に入社。ハーバード大学経営大学院卒業(MBA:経営学修士取得)。給食事業の(株)ソデックスコーポレーション(現:(株)レオックジャパン)代表取締役に就任。2002年、43歳で当社代表取締役に就任、現在に至る。

ローソンは、 マチのほっと



元気になるーソコ!

1. 第35期(2010年2月期)の業績について

当期(2009年3月1日から2010年2月28日まで)は、雇用不安や所得減少に対する懸念が継続したことに加え、taspo(成人識別ICカード)の稼働から1年が経過したことや天候不順など厳しい環境もあり、ローソン単体では前期の実績を下回る結果となりました。一方で、(株)九九プラス、(株)ローソン・エイティエム・ネットワークスなどの子会社の業績が好調であったことにより、グループ全体の営業総収入は4,671億92百万円(前期比33.7%増)、経常利益は494億40百万円(同1.3%増)となりました。しかしながら、(株)ローソンエンターメディアにおいて元取締役2名による不正行為が発覚し、多額の損失を計上せざるをえなくなったため、結果として当期純利益は125

お客さま一人ひとりにとっての ステーションを目指します。

億62百万円(同47.2%減)と大幅な減益となりました。

今回の不正に関し、多大な損失が発生したことにつきまして、ここに深くお詫び申し上げます。今後は、社内管理体制の徹底した見直しと強化を図り、再発の防止と信頼回復に努めてまいります。

2. 外部環境の変化への対応

ローソンでは、CVS(コンビニエンスストア)の飽和や少子高齢化などの外部環境の変化に応じ、今までCVSをあまり利用していなかった主婦やシニア層の客層拡大の重点施策として、生鮮食品や自主企画商品で強みを持つ「ローソンストア100」の出店をここ数年加速させてきました。価値ある商品をシングルプライスで提供する「ローソンストア100」は、内食へのニーズの高まりなどの生活防衛意識に応えることで、主婦やシニア層、小世帯の方々を中心に高い支持を得ており、住宅立地を中心に引き続き積極的に展開する予定です。

3. 更なる成長に向けた取り組み

第一に、カード会員の購買データを軸に、商品、販売、マーケティングが連動することで、加盟店の荒利益高を改善します。

加盟店支援(=加盟店利益の最大化)はローソンの成長に不可欠の要素です。連結ベースで「ローソンストア100」などが好調である一方、青い看板のローソン店舗の収益をいかに向上させるかが大変重要です。そのために、PRISMという発注業務改革を実現する次世代情報システムを導入しました。今までの補充発注では、過去の販売実績をもとに仕入数を決めることが多く、ムダな廃棄ロスや機会ロスが発生していました。カードデータを活用することで、「いつ」「どんなお客さまが」「何を」「どれくらい買っていたのか」、つまり「お客さまを理解し、お客さまに合った品揃え」を常に考えた発注が可能になりました。これにより、マチ(地域)のお客さまのニーズにより合った品揃えが実現できるとともに、今まで以上に計



画的な発注が可能となり、発注精度の向上が期待できます。今までの欠品してから発注するという悪循環を断ち切ることで廃棄ロスと機会ロスの両方を減らすことができ、加盟店の荒利益高も改善されます。

第二に、共通ポイントプログラム「Ponta(ポнта)」に参画し、他の参画各社と共同で、より広範なマーケティング分析や販売促進策を推進する体制を整えます。

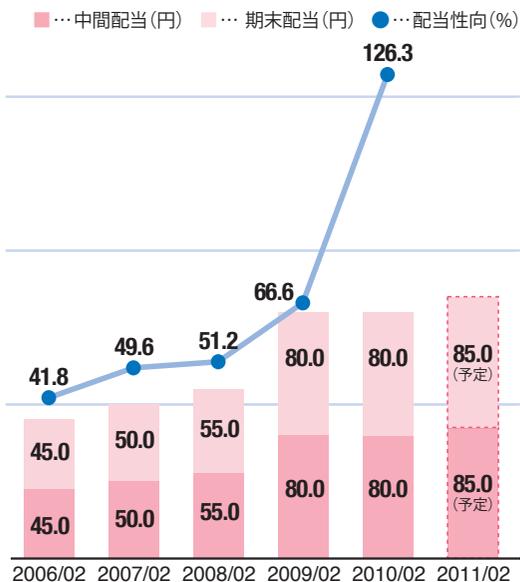
これまでローソンは、CVS業界では他社に先駆けて会員カード(マイローソンポイント、ローソンパス)施策を進めてきました。会員数の合計は1,100万人を超え、CVS業界ではトップクラスの会員数となりました。会員数の増加とともに利用率及び利用客数も増加しており、参画各社との相互送客効果が期待できるなど、ローソンにとって大きな武器となっています。また、お客さまにとっては、Pontaに加入することにより、ポイントが貯めやすく、さらに充実した特典やサービスが受けやすくなります。今後、(株)ローソンエンターメディアを子会社に持つ強みを最大限に活かし、エンタテインメントを活用して他社にはまねのできない企画を提供していきます。

最後に、「医食同源」を事業テーマにヘルスケア事業を強化します。

急速に進む高齢化社会の中で、お客さまが求める「健康で快適な生活」の実現に向けて「心と体の健

康提供モデル」を構築します。まず、アライアンスを通じて医薬品販売におけるノウハウを習得し、登録販売者の育成により既存店舗への医薬品販売の拡大を行います。また、一般医薬品・化粧品・日用品の3つのカテゴリーを中心に、付加価値の高い高品質な専門性に優れた商品を開発し、それらを販売するCVSとドラッグストアの融合店舗を展開しま

◆ 配当金と連結配当性向の推移



す。併せて、薬局の業態転換を中心とした調剤併設店舗の出店も進めていきます。

4. 株主への還元策について

株主還元については、株主の皆さまに今後も中長期的にご支援いただきたいという想いから、2011年2月期の年間配当金は1株につき10円増配の170円を予定しています。また、経済状況の変化等によっては、株主還元の一環として自己株式の取得、消却も検討しますが、成長の種がある分野には積極的に投資したいと考えていますので、そのバランスも考慮したいと思えます。

5. 株主の皆さまへのメッセージ

ローソンは、多くのチャレンジに取り組んでいます。こうした取り組みのベースにあるのは「みんなと暮らすマチを幸せにしたい」という強い想いです。この想いを実現するために、今後も業界のイノベーションリーダーとして、常に新たなチャレンジを続けていきます。また、安全・安心な食の提供、地球温暖化をはじめとする環境問題など、今後ますますCVSの社会的責任が問われていくものと考えていますので、品質管理体制の強化やCO₂削減、食品のリサイクルなどにも取り組んでいきます。



ひとつひとつのマチで「ローソンがあって良かった」と認めていただくことが、企業価値の更なる向上に繋がっていくものと信じています。

今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2010年2月期 業績ハイライト(連結)

連結損益計算書のポイント (単位:百万円)

	前 期 (2008年3月1日～2009年2月28日)	当 期 (2009年3月1日～2010年2月28日)	増減率
(チェーン全店売上高)	(1,558,781)	(1,666,136)	(6.9%)
営 業 総 収 入	349,476	467,192	33.7%
売 上 原 価	88,358	173,722	96.6%
営 業 総 利 益	261,117	293,469	12.4%
販売費及び一般管理費	211,931	243,193	14.8%
営 業 利 益	49,186	50,275	2.2%
経 常 利 益	48,787	49,440	1.3%
当 期 純 利 益	23,807	12,562	△47.2%

前期の数値は、当期に発生した前期損益修正損(19億36百万円)を遡及修正しております。
 なお、遡及修正前の前期の当期純利益は、253億6百万円となります。

ポイント1 (株)九九プラスのフル連結により収益が増加

(株)九九プラスをフル連結したことや(株)ローソン・エイティエム・ネットワークスのATM設置台数が増加したことなどにより、営業総収入は前期比33.7%増、

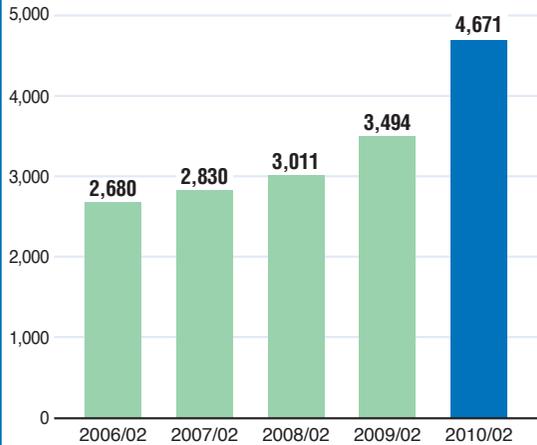
販売費及び一般管理費は同じく14.8%増、営業利益も同じく2.2%増となりました。

ポイント2 子会社の元取締役の不正流用に伴い、当期純利益が減少

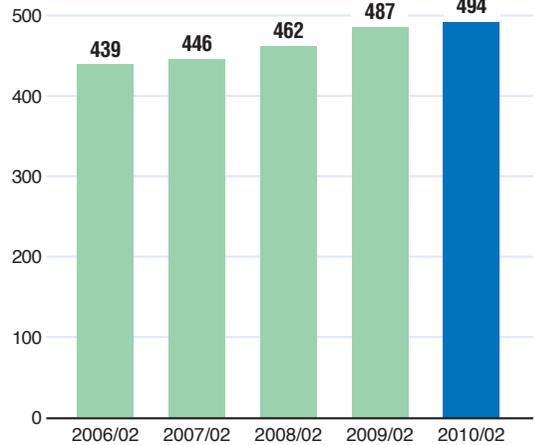
(株)ローソンエンターメディアの元取締役による資金の不正流用に伴う特別損失を126億16百万円計上

したことなどにより、当期純利益は前期比47.2%減となりました。

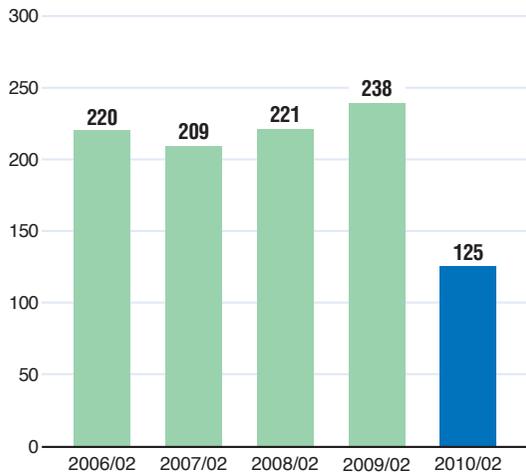
◆ 営業総収入 (単位：億円)



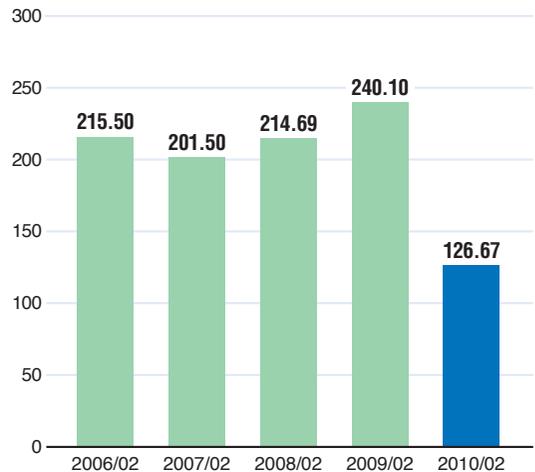
◆ 経常利益 (単位：億円)



◆ 当期純利益 (単位：億円)



◆ 1株当たり当期純利益 (単位：円)



連結貸借対照表のポイント (単位:百万円)

	前 期 末 (2009年2月28日現在)	当 期 末 (2010年2月28日現在)	増減額
流 動 資 産	154,760	132,198	△ 22,562
固 定 資 産	281,335	315,933	34,597
有 形 固 定 資 産	114,999	145,308	30,309
無 形 固 定 資 産	31,902	34,407	2,505
投 資 そ の 他 の 資 産	134,433	136,216	1,783
流 動 負 債	183,740	184,496	755
固 定 負 債	51,188	65,499	14,311
純 資 産	201,166	198,135	△ 3,031
総 資 産	436,096	448,131	12,035

前期末の数値は、当期に発生した前期損益修正損(19億36百万円)を遡及修正しております。

なお、遡及修正前の前期末の固定資産は2,814億10百万円、流動負債は1,818億4百万円、純資産は2,031億78百万円となります。

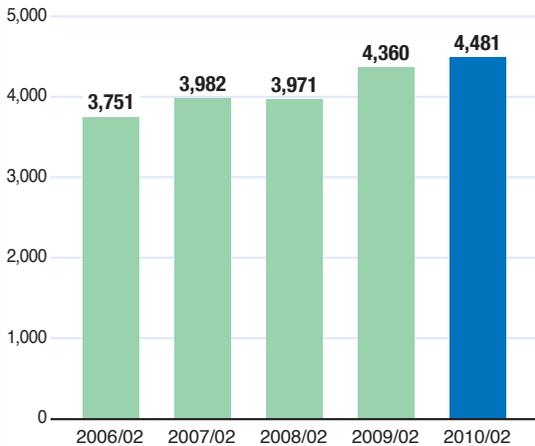
ポイント1 新リース会計基準の適用などにより、 固定資産と負債が増加

新リース会計基準の適用に伴い、2009年3月以降に契約したリース資産を有形固定資産に計上したことなどにより、固定資産が前期末に比べ345億97百万円増加しました。一方、リース資産の支払債務を流動負債・固定負債へ計上したことなどにより、負債が同じく150億67百万円増加しました。

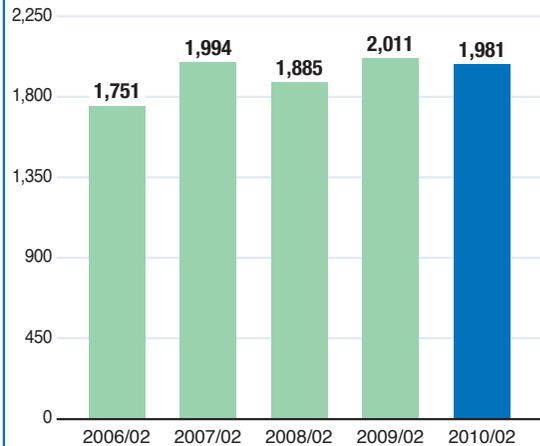


より詳細な財務情報をご希望の方は、当社ウェブサイト「IR情報」をご覧ください。

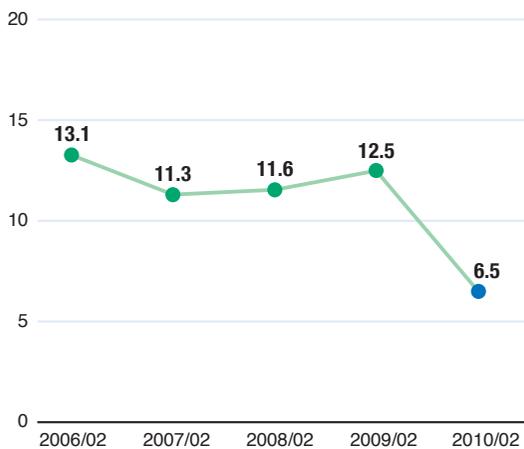
◆ 総資産(単位: 億円)



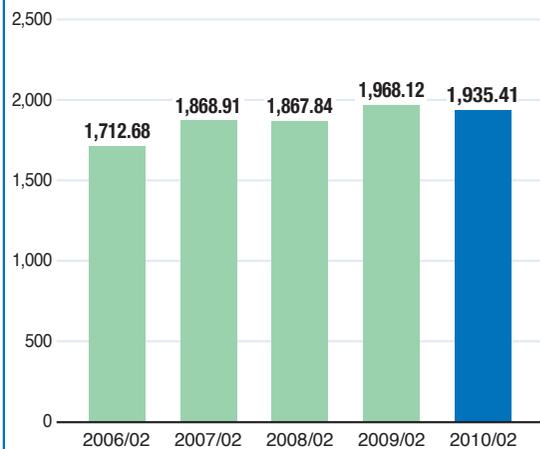
◆ 純資産(単位: 億円)



◆ 自己資本当期純利益率(ROE)(単位: %)



◆ 1株当たり純資産(単位: 円)



商品情報

一括大量仕入れで確保した食材を製法の見直しにより最大限に活かすなど、「原材料を起点」とした商品開発で商品価値の“3割”アップを目指す「驚きの商品開発プロジェクト」。弁当、デザート、パスタ、おにぎりの4カテゴリーで進められるプロジェクトの中から、人気商品を一部ご紹介します。

■ 新製法のパスタマシンを導入！ 「驚き」の生パスタ麺

2009年10月にオープンしたパスタの新ブランド『パスタ屋』。プレミアムメニューとして、コンビニ業界で初めて製造工場に導入した真空押し出し製法のパスタ専用機械による生パスタをラインナップ。生地を乾燥させずに高压で押し出して製麺することで、しっかりとした弾力ともちもちの食感が実現し、専門店同様の本格的なパスタをお楽しみいただけます。



2010年1月5日発売

「とろ〜り玉子のカルボナーラフェトチーネ」
450円(税込)

2種のチーズたっぷりの濃厚ソースと相性の良い幅広い形状のパスタ麺フェトチーネが絡み合い、専用の“とろ〜り”半熟玉子が、ソースの旨み・コクをさらに引き出しています。

■ 2010年度モンドセレクション金賞受賞！ 「驚き」のロールケーキ

3種のブレンドクリームとブランド小麦粉でつくったスポンジ生地が人気の『Uchi Café SWEETS(ウチカフェスイーツ)』の「プレミアムロールケーキ」。2009年9月の発売から半年で1,800万個の販売を記録する大ヒット商品となり、ヨーロッパで開催された2010年「モンドセレクション」製菓部門において、コンビニのチルドデザートでは初めて“金賞”を受賞しました。シリーズの「プレミアムチョコロールケーキ」「プレミアムチーズロールケーキ」も大好評をいただいております。



2010年2月9日発売

「プレミアムチョコロールケーキ」
160円(税込)

世界最大のチョコレートメーカー「バリー・カレボー社」の最高級チョコレートを「プレミアムロールケーキ」と同じクリームに合わせました。カカオの風味と苦味が効いた大人の味です。

東京都「海の森」プロジェクトに参加

ローソンは、東京都が推進する、東京湾のごみ埋め立て地を植樹活動により美しい森に変える「海の森」プロジェクトの趣旨に賛同し、「ローソン緑の募金」を活用して協力しています。2009年6月1日～8月31日に東京都内のローソン約900店舗で募金活動を実施して集まった626万円を、2010年1月28日に東京都(緑の東京募金実行委員会)に苗木代として贈呈。その苗木4,500本を2010年3月28日に開催された「海の森」の植樹会

において、関係者の手によって植樹しました。ローソンでは、今後も『マチに元気を広げる』ために、お客さまが日々の生活の中でできる環境保全活動を積極的に提案していきます。



「海の森」植樹会の様子

第14回「IR優良企業賞」を受賞



受賞式の様子

ローソンは、2009年11月、日本IR協議会が選定する第14回「IR優良企業賞」を受賞しました。「経営トップが積極的にIRを推進しており、成長戦略が明確で、経営や目標設定もわかりやすい」「IR サイトは個人投資家の関心が高い株式情報や株主還元の考え方がまとめられ使いやすい」などの受賞理由が挙げられ、当社のIR(投資家向け広報)活動が高い評価を受けました。今後も、当社が市場から適正に評価されるよう、公平かつ適時適切でわかりやすい情報開示を継続的に実践することで、企業価値の向上に努めてまいります。



ローソン「Ponta(ポインタ)」カードスタート

2010年3月からサービスが開始された共通ポイントプログラム「Ponta(ポインタ)」は、1枚のカードで提携企業の店舗やウェブでのお買い物で貯めたポイントをご利用いただいたり、さまざまな特典が受けられる次世代型ポイントサービスです。ローソンは、コンビニエンスストア業界では他社に先駆けて会員カード施策を推進してきましたが、今回の「Ponta(ポインタ)」カードの取り組みにより、さらに充実したサービスを提供するとともに、他の参画企業と共同で、より広範なマーケティング分析や販売促進施策を推進する体制を整えました。これらの施策を通じ、地域特性やお客さまのニーズに対応した商品やサービスの提供に努めてまいります。



ローソン検定

～歴史編～

ローソンの歴史にまつわるクイズです。どれだけローソンのことを知っているかチャレンジしてみてください。

Q₁ ローソンの社名の由来は？

- ①最初の商品
- ②縁起の良い造語
- ③人の名前

A₁

正解は③です。
米国のローソンミルク社の創業者 J.J.Lawson 氏に由来します。お客さまの要望に応え、牛乳販売業を「コンビニエンスストア」に進化させた彼の名前から『ローソン』と名付けられました。

Q₂ 日本のローソン第1号店は？

- ①銀座店（東京都中央区）
- ②桜塚店（大阪府豊中市）
- ③国際通店（沖縄県那覇市）

A₂

正解は②です。
1975年6月にオープンしました。レンガ造りのアメリカ風だった店舗は日本のマーケットに合わせて姿を変え、35年を経た2010年には、全国で9,000店を超える規模になりました。

Q₃ オリジナル商品第1号は？

- ①おにぎり
- ②プリン
- ③牛乳

A₃

正解は③です。
1975年6月に「ローソン無調整牛乳」を発売しました。1号店のオープンと時を同じくして、看板にも描かれたミルク缶にちなんで、牛乳をオリジナル商品第1号として発売しました。



Q₄ 「からあげクン」の発売開始は？

- ①1976年4月
- ②1986年4月
- ③1996年4月

A₄

正解は②です。
人間なら24歳になります。今や多くのコンビニで見られるようになったからあげですが、店舗で揚げたできたての状態で提供した最初のコンビニは、実はローソンなのです。



ローソングループ企業

連結子会社

(株) ローソンエンターメディア



Lawson Entertainment, Inc.

大阪証券取引所JASDAQ市場に株式を上場しており、主にローソン店舗内のマルチメディア情報端末「Loppi」を通じてコンサート、スポーツ及び映画などのチケット販売を行っています。

※同社は、2009年3月1日付で当社の子会社であった(株)アイ・コンビニエンスを吸収合併し、2009年7月20日付で(株)ローソンチケットから商号変更しました。

(株) 九九プラス



大阪証券取引所JASDAQ市場に株式を上場しており、主婦や中高年のお客さまを主な対象とし、価値ある商品をシンプルプライスで提供する「ローソンストア100」や「SHOP99」などの直営及びフランチャイズチェーン展開を行っています。

※同社は、2009年5月1日付で当社の子会社であった(株)バリューローソンを吸収合併し、2009年12月1日付で同社の100%子会社である(株)九九プラス関西を吸収合併しました。

(株) ローソン・エイティエム・ネットワークス



主にローソン店舗におけるATMの設置、管理及び運用に関する業務や、入出金・振込等、ATM網を利用した提携金融機関の金融サービスに係る事務受託などを行っています。

(株) ベストプラクティス



コンビニエンスストアに関する実態調査を行い、ローソン店舗の改善に係る助言及び提案を行っています。

持分法適用関連会社

上海華聯羅森有限公司

当社と百聯集团有限公司(中華人民共和国)との合併会社で、中華人民共和国上海市でローソン店舗のチェーン展開を行っています。

株式会社ローソン沖縄

当社と株式会社サンエーとの合併会社で、沖縄県でローソン店舗のチェーン展開を行っています。

店舗情報 (2010年2月28日現在)

店舗数

カッコ内数字はローソンストア100及びSHOP99の店舗数です。

国内合計 **9,761** (996) 店舗

北海道地方
518 店舗

中部地方 **1,421** (126) 店舗

新潟	104	長野	133
富山	111	岐阜	117 (6)
石川	85	静岡	173 (14)
福井	96	愛知	446 (106)
山梨	66	三重	90

東北地方

828 (32) 店舗

青森	167
岩手	161
宮城	193 (27)
秋田	148
山形	59
福島	100 (5)

中国地方

548 店舗

鳥取	89
島根	87
岡山	123
広島	140
山口	109

関東地方

2,920 (628) 店舗

茨城	105 (5)
栃木	106
群馬	65
埼玉	374 (47)
千葉	351 (61)
東京	1,255 (352)
神奈川	664 (163)

九州地方

1,036 店舗

福岡	339
佐賀	60
長崎	85
熊本	91
大分	136
宮崎	82
鹿児島	107
沖縄	136

近畿地方

2,074 (210) 店舗

滋賀	123
京都	245 (38)
大阪	954 (136)
兵庫	541 (33)
奈良	102 (3)
和歌山	109

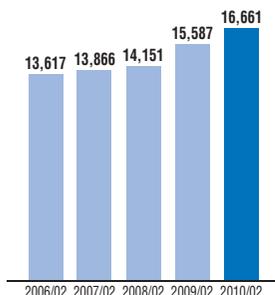
四国地方

416 店舗

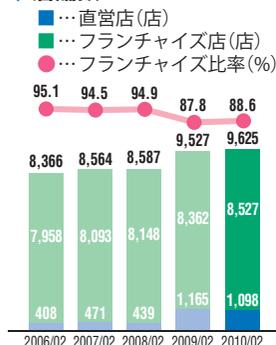
徳島	105
香川	97
愛媛	156
高知	58

上海華聯羅森有限公司 298店舗

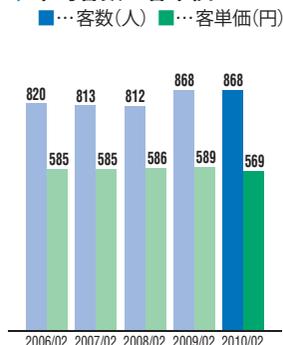
◆ 連結チェーン全店売上高 (億円)



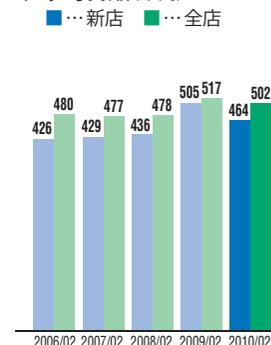
◆ 店舗数



◆ 平均客数・客単価



◆ 平均日販 (千円)



(注) 店舗数は、2009/02からローソン、ナチュラルローソン、ローソンストア100及びSHOP99の合計を記載しています。

会社概況／株式情報 (2010年2月28日現在)

会社概要

社名 株式会社ローソン
所在地 〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号
 ゲートシティ大崎 イーストタワー
 TEL.03-5435-2770
設立 1975年4月15日
資本金 585億664万4千円
社員数 3,424人(単体)
事業内容 コンビニエンスストア「ローソン」及び「ナチュラルローソン」のフランチャイズチェーン展開

役員 (2010年4月14日現在)

代表取締役社長	新浪 剛	執行役員	村山 啓
取締役専務執行役員	矢作 祥之	執行役員	木島 一郎
取締役常務執行役員	浅野 学	執行役員	前田 淳
取締役	森山 透	執行役員	唐笠 一男
取締役(社外)	田坂 広志	執行役員	大山 昌弘
取締役(社外)	米澤 禮子	理事執行役員	安平 尚史
取締役(社外)	垣内 威彦	理事執行役員	後藤 憲治
常勤監査役(社外)	中野 宗彦	理事執行役員	河村 肇
常勤監査役	山川 健次	理事執行役員	井関 廉浩
監査役(社外)	小澤 徹夫	理事執行役員	松浦 学
監査役(社外)	桑田 博	理事執行役員	遠藤 裕之
専務執行役員	川村 隆利	理事執行役員	澤田 正幸
上級執行役員	西口 則一	理事執行役員	郷内 正勝
上級執行役員	河原 成昭	理事執行役員	和田 祐一
上級執行役員	水野 隆喜	理事執行役員	山本 将毅
執行役員	今川 秀一	理事執行役員	太田 悟
執行役員	佐藤 達	理事執行役員	若林 泰
執行役員	宮崎 純	理事執行役員	廣金 保彦
執行役員	中井 一	理事執行役員	佐々木 範夫

株式の状況

発行可能株式総数 409,300千株
 発行済株式の総数 99,600千株
 単元株式数 100株
 株主数 35,691名

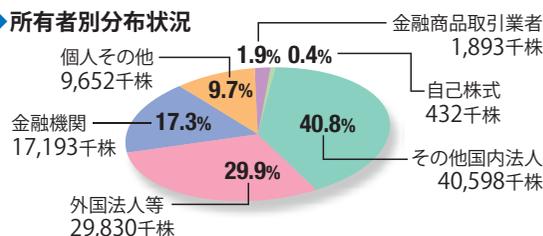
大株主 (上位10名)

株主名	所有株数(千株)	持株比率(%)
1.三菱商事株式会社	32,089	32.4
2.丸紅フーズインベストメント株式会社	4,786	4.8
3.日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,765	3.8
4.日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,363	3.4
5.ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505223	2,543	2.6
6.株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	2,092	2.1
7.ザチューズマンハッタンバンクエンイロンドエスエルコムコリアアウト	1,856	1.9
8.ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505225	1,337	1.3
9.資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,184	1.2
10.みずほ証券株式会社	1,087	1.1

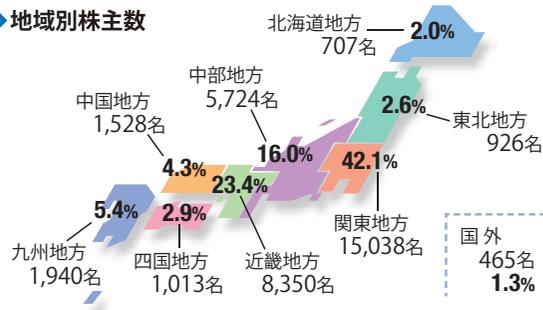
※上記の持株比率は、自己株式432,190株を控除して算出しております。

株式分布状況

◆所有者別分布状況



◆地域別株主数



..... 株 主 メ モ
.....

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
定時株主総会の基準日	毎年2月末日
配当基準日	毎年2月末日及び毎年8月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 の 方 法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 ◆ 公告掲載のURL http://www.lawson.co.jp/koukoku/index.html

株式のお手続きについてのご注意

- 1.株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求、配当金振込口座の指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。
- 3.除斥期間満了前の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行でお支払いいたします。
- 4.株券電子化に伴い、株主さまのお名前などに(株)証券保管振替機構で指定されていない文字が含まれる場合は、通知物のあて名の一部又は全部が同社の指定する文字に置き換えられることがありますので、あらかじめご了承ください。

- 当社ウェブサイトからもさまざまな情報をご覧いただけます。
- 第35回定時株主総会の模様も当社ウェブサイトにてご覧いただけます(2010年8月下旬まで)。



LAWSON

株式会社ローソン

総務ステーション 総務(株式)
〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号
ゲートシティ大崎 イーストタワー
TEL 03-5435-2774
FAX 03-5759-6944
<http://www.lawson.co.jp/>



A-(2)-060001



K0809236



- この報告書は、間伐紙を使用しています。
- アメリカ大豆協会認定の大豆油インキで印刷しています。

2010年5月発行

© 2010 LAWSON, INC. All rights Reserved.

本報告書に記載されている当社グループの現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の実績などに関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績などは、さまざまな要因の影響を受け、これら見通しと大きく異なる可能性があります。